

庁舎ライトアップを実施します

9月には、障害や病気への理解を深めるための国際的な記念日があります。

当町では、多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりの一環として、それぞれのテーマカラーである「ブルー」と「オレンジ」に役場庁舎をライトアップします。夜空に浮かぶ2つの光をきっかけに、手話や認知症について考えてみませんか。

■9月23日は「手話言語の国際デー」

青色は、世界ろう連盟（WFD）のロゴカラーであり、「世界平和」を表しています。世界各地のランドマークが青く染まり、世界的な啓発の輪が広がります。

この日に合わせて、以下の期間ブルーライトアップを行います。

期 間 9月16日(水)～18日(金) 日没～午後8時

問合せ 福祉介護課 福祉担当 ☎66・3111 内線145

■9月21日は「世界アルツハイマーデー」

オレンジ色は、日本の認知症支援のシンボルカラーです。江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門の「夕暮れ時にも温かく光を放つような」夕暮れの赤色（柿色）に由来し、「温かさ」や「地域で見守る・支援の輪」を象徴しています。

この日に合わせて、以下の期間オレンジライトアップを行います。

期 間 9月24日(木)～25日(金) 日没～午後8時

問合せ 福祉介護課 介護包括ケア担当 ☎66・3111 内線142

9月23日は「手話言語の国際デー」です

手話言語の国際デーは、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう社会全体で手話言語についての意識を高める取り組みを促進しようと、2017年12月19日に国連総会で決議されました。

毎年テーマが決められており、令和8年のテーマは「ろう者人権宣言」です。

令和7年6月25日には手話に関する施策の推進に関する法律が公布、施行され9月23日を「手話の日」とすることとされました。

国際ろう者週間 「国際ろう者週間」は世界ろう連盟(WFD)主導のもと、昭和33年9月にイタリアのローマで始まりしました。

世界ろう連盟(WFD)の最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最後の1週間（月曜日から日曜日まで）を「国際ろう者週間」としています。役場ロビーにおいて手話に関する展示を行います。

問合せ 福祉介護課 福祉担当 ☎66・3111 内線145

簡単な手話を覚えましょう【第78回】

「アプリのダウンロードは無料です」の手話表現



両手親指の指先を上下に構えて、同時に右回りに回します。



上向きにした右手のひらを、指文字の「レ」の形にした左手の親指と人差し指の間に入れます。



右手の親指と人差し指で輪を作り、開きながら左へ動かします。



動画はこちらから

協 力：ちちぶ広域聴覚障害者協会 担 当：福祉介護課 ☎66・3111